

はじめに

近年、対面による指導が困難な場合の学びの保障の一つとして、遠隔による指導に大きな期待が寄せられています。障害のある児童生徒に対する自立活動においても、ICTを活用した遠隔による指導の在り方を研究していくことが求められています。

千葉県においても、令和4年3月策定の「第3次千葉県特別支援教育推進基本計画」で示している5つの重点項目の一つに、「ICTの利活用による教育の質の向上」を明記し、個別最適化した学びを実現するためのICTの利活用による指導の充実を目指しているところです。

このようなことから、県教育委員会では、令和3年度から2年間の計画で、文部科学省委託事業「ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究」を受託し、遠隔による自立活動の効果的な指導について調査研究に取り組んでまいりました。

この度、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための自立活動の効果的な指導・支援の一助となることを目的として、「遠隔による自立活動の指導 スタートガイド」を作成しました。「これから、遠隔による自立活動の指導を始めてみたい。」「もっと可能性を探ってみたい。」と思っている多くの先生方に読んでいただけるよう、Q&A形式による実施上のポイントや、研究指定校における指導事例等で構成しています。

自立活動は、特別支援学校、特別支援学級での指導や通級による指導のみならず、通常の学級においても必要なことです。各学校において、本スタートガイドを活用しながら遠隔による自立活動の効果的な指導に積極的に取り組んでいただき、障害のある児童生徒の学びの質の向上へとつながっていくことを願っています。

令和5年3月

千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課長

松田 厚